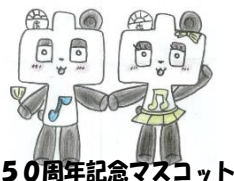


「つたえよう」「わかりあおう」「つながろう」 学校だより



伸びゆく子

令和3年1月29日
横浜市立中沢小学校
2 月 号

一日一日を大切にす

校長 小倉 克彦

正門脇の斜面の紅梅がきれいな花をつけています。春が近づいてきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、この仕事に就いてから毎年のことですが、二月が過ぎていく速さに追われてしまいます。それがわかっていて、心構えをしても・・・です。単純に二月の日数が少ないことも理由の一つですが、一年間積み重ねてきた取組が次々と開花し実を結んでいくこの時期の一日一日の重みが私たちにそのように感じさせるのであろうと思っています。経験が少ない子どもたちは、気が付いたら「あと数日で今年が終わってしまう」となってしまいがちです。ですから、わたしたちはこの時期、子どもたちに年度末までに予定されている出来事や、それにむけて自分たちがすること、残りの日数を明確に示すようにしています。具体的に取り組むことと残り時間がわかることで子どもたちは「一日一日を大切にしなければ」と思い、「今しかできないことがある」ことに気づいていきます。子どもたちとともに大切に時間を過ごしていくつもりです。

保護者の皆様、今月はじめの学校評価アンケートへのご回答、ありがとうございました。文章でいただいたご意見につきましてもお一人お一人読ませていただきました。今年状況の中、お子様を大切に思うお気持ちが強く伝わってまいりました。内容につきましては、すぐにお返しできること、次年度の体制にかかわることなどに整理し、早速反映させてまいります。学校が「お子さんが安心して過ごせる場所」「お子さんが成長する場所」であることを見失うことなく一つ一つ判断しながら教育活動をすすめてまいります。励ましや応援のお言葉もたくさんいただきました。大変勇気をいただいています。ありがとうございます。

二月以降の年度内登校日数、六年生は残り33日、一年生から五年生は残り37日です。一日一日を大切に過ごして参ります。今月もよろしくお願ひします。

※五年生が「中沢小校歌に込められた思い」を調べてくれました。まとめたものを正門横に掲示しています。